

## ■執筆者紹介（執筆順）

### 足立 英之（あだち ひでゆき）

尾道大学学長。神戸大学名誉教授。

理論経済学専攻。主としてマクロ経済学分野の研究を行い、経済成長や景気循環を理論的に分析することを中心的な研究テーマとしてきました。それらを下記の著書にまとめています。

『経済変動の理論』（日本経済新聞社、1982年）、『マクロ動学の理論』（有斐閣、1994年）、『不完全競争とマクロ動学理論』（有斐閣、2000年）

### 稲垣 一之（いながき かずゆき）

尾道大学経済情報学部講師。博士（経済学）

専攻分野は、経済時系列分析の応用研究です。これまでは、医療経済学、国際金融論、金融論、ファイナンス論、経済政策論、などの分野で研究を進めてきました。これらの研究成果は、Health Economics、Economic Modelling、Journal of Applied Economicsなどの国際学術雑誌から出版されています。

### 奥山 民枝（おくやま たみえ）

東京芸術大学美術学部卒業

画集「奥山民枝・旅化生」（美術出版社）、画集「手のなかのいのち」（奥山事務所）、画集「ゆらぐ・わたる」（美術出版社）、「山水恋図」（岩波書店）等出版。第35回安井賞、第31回広島文化賞 受賞。

2012年 尾道大学芸術文化学部美術学科油画コース教授 退任。名誉教授。

### 兎玉 康兵（こだま こうへい）

尾道大学芸術文化学部美術学科デザインコース教授

京都市立芸術大学美術学科彫刻科卒業

建築設計事務所で建築を学びイタリア留学を経て彫刻家・環境デザイナーとして独立、日本各地に環境造形を展開しています。

尾道に於いても学生達と共に彫刻、石造物を市内に設置、文化的都市環境造りを展開中です。現在尾道を中心とした瀬戸内石工の歴史を研究しています。

藤沢 毅（ふじさわ たけし）

尾道大学芸術文化学部日本文学科教授。

日本近世文学専攻。

特に読本（よみほん）、実録、通俗軍書など江戸時代後期の散文学を対象としています。下垣内先生より寄贈を受けた俳諧資料は、当初は私の専門外のものであり、扱いに苦劳しましたが、学外の専門の研究者たちのお力を借り、目録を作成することができました。また、自分自身もたいへん勉強になりました。今後は尾道の俳諧にも興味を持って調査にあたっていこうと思います。

槇林 滉二（まきばやし こうじ）

尾道大学名誉教授。広島大学名誉教授。

日本近現代文学専攻。明治中期の文学者北村透谷の文学や思想の追究を行うとともに、あわせて、日本近現代文学の縦断的考察を試みてきました。すなわち、日本近現代文学や近現代思想の原景の一つとして北村透谷の文学や思想を措定、その内質を探り、以降、日本近現代文学、日本近現代思想とは何であったか、何であるか、などについて討究を重ねてきました。それらを下記の書に纏めています。

『北村透谷と徳富蘇峰』（昭59・9 有精堂）、『北村透谷研究—絶対と相対との抗抵—』（平12・5 和泉書院）、『明治初期文学の展開—後退戦の経絡—』（平13・2 和泉書院）、『日本近現代文学の展開—志向と倫理—』（平14・8 和泉書院）、『日本近代文学の内景—様々なる断層—』（平23・3 和泉書院）